

SAQR19番外編「金太郎が見た夕日」 解答用紙(Excel版)

チーム名	正解	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム		←成績表に実名を出したくない場合	
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A 距離計測	ドライブクラス	ラリークラス
CP	距離が短い順 に番号を記入 (1,2,...)	距離を記入 (0.01 km単位)
S~1 CP	10	10.80 km
1~2 CP	1	1.81 km
2~3 CP	8	8.57 km
3~4 CP	4	4.33 km
4~5 CP	2	4.00 km
5~6 CP	6	5.69 km
6~7 CP	9	10.51 km
7~8 CP	5	5.07 km
8~9 CP	11	14.44 km
9~10 CP	7	7.50 km
10~11 CP		km
11~F CP	3	4.04 km

Q-B	51年
Q-C	Q-B、Q-E、(Q-F、)Q-H、Q-M
Q-E	(むかし班目村の人たちが利用した)横井戸の 汲取り口を真似て作ったもの
Q-F	9本
Q-G	送り倒し or 突き倒し
Q-H	①(上昇した)
Q-I	領地争奪綱引き合戦で負けるまで
Q-K	アルミ
Q-L	大野山
Q-M	57トン
Q-N	階段
Q-O	ツツジ
Q-P	登り階段と下り階段の段数の合計はい くつか？

参加クラス	
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-X1	Q-B
Q-X2	かぶと石
Q-X3	サル、ウサギ
Q-X4	新羅三郎義光吹笙之石
Q-X5	玉手ヶ池 or 底知らずの池 or 雨乞い池
Q-X6	ディーゼルカー運転開始
Q-X7	2CP
Q-X8	駿河小山駅

SAQR19番外編「金太郎が見た夕日」
最終成績

◆ラリークラス

順位	チーム名	代官者	QA											QB	QC	QE	QF	QG	QH	QI	QH	QL	QM	QN	QO	QP	QX1	QX2	QX3	QX4	QX5	QX6	QX7	QX8	総得点	SAQR賞	解答受付日	DRC参加
			S / 1	1 / 2	2 / 3	3 / 4	4 / 5	5 / 6	6 / 7	7 / 8	8 / 9	9 / 10	1 / F																									
1	チーム やってーた!	関 康成	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	11	4	2020.8.13	-	
2	食うらん	岸 憲司	1	1	1	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	13	4	2020.8.19	-	
3	中古でGO!	長谷部 章	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	7	2020.7.6	-	
4	DANGAN CLUB	矢木 雅人	1	1	2	1	1	1	0	2	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	2020.8.7	-	
5	1円70銭	青木 英一	1	1	5	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	5	2020.9.4	-	
6	MAC	小瀬 誠	1	1	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	20	12	2020.8.23	-	
7	つれづれ	山本 英雄	1	0	2	2	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	22	13	2020.8.23	-	
8	YuChans 2020	清水 正章	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	23	14	2020.7.28	-	
9	TEAMうましか	堀口 泰夫	1	1	3	3	1	2	2	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	23	7	2020.9.4	-	
10	Cleyeras (クレイラズ)	榊原 修	0	0	1	0	0	1	5	2	6	4	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	26	5	2020.9.1	-	
11	マリモスターズ	マリモスターズ	1	1	10	2	1	1	1	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	26	7	2020.9.4	-	
12	チームまさる	岩泉 勝	1	2	0	1	2	1	3	1	4	2	2	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	3	3	0	2	0	2	2	0	0	2	37	18	2020.7.26	-	
13	オジサンズ	黒田 正彦	1	0	1	4	0	1	1	0	10	0	0	0	2	0	3	1	3	1	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	0	0	38	20	2020.8.31	-	
14	えやとん	べったん	1	2	8	1	1	3	1	0	2	10	1	0	1	3	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	2	2	2	0	0	0	2	46	16	2020.8.15	-	
15	チーム智	山崎 輝彦	3	6	0	0	4	2	7	5	3	2	0	0	0	0	0	1	3	1	3	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	47	15	2020.8.30	-	

◆ドライブクラス

1	ねこ金魚	ねこ金魚	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	2020.9.4	-
2	チームくまくま	細田 実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	12	12	2020.8.22	-
3	ジバジバ亀さん	アッキー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	3	1	3	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	24	24	2020.8.27	-	
4	ワタナベ	NZBEYRZ	5	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	3	3	0	3	0	0	2	2	2	0	0	0	20	19	2020.8.16	-

◆全体

金太郎ゆかりの場所を回る今回のコース、新型コロナウイルスの影響と開催期間の短さから、参加者数はいつもの半分程度と予想していましたが、終わってみれば前回並みの19チームのご参加をいただきました。うち、ドライブクラスにも4チームの参加がありました。ベテランの方も「久しぶりのDRでペースがつかめずミスコースを繰り返した」という感想が多かったです。

成績の方は、距離クイズ減点を全区間で1点以下に抑えた関さんが久しぶりの優勝です。関さんを含め上位5チームは、過去のSAQR番外編またはぐるグルドライブクイズでの優勝経験者が占めました。SAQR賞は、距離クイズ以外のクイズを全問正解した矢木さんが受賞です。賞品は次回SAQR無料招待なのですが、現在の状況ではCPでのクイズ出題や表彰式でソーシャルディスタンスを確保できないので、SAQR20はこれまでと大きく形式を変更しての開催となります。参加費は値下げまたは無料を検討しており、無料招待は特典とならないため、これに代えて記念品を贈ることにしました。またドライブクラスはねこ金魚さんが素晴らしい成績で優勝です。距離クイズはラリークラスと比較できませんが、距離以外のクイズは全体でも単独2位の出来です。ドライブクラスからSAQR賞が出る可能性を感じました。

◆クイズ解説

Q-A(距離計測)

今回の減点が多い区間などの傾向的な特徴は見当たりませんでした。1カ所だけ大きく減点を受けた人、前半と後半で大きく傾向が異なる人、も散見されますが、減点を多く受けた箇所はバラバラでした。

SAQR方式で採点するドライブクラスは、車載トリップでは判別が微妙な40m差が1カ所あったにもかかわらず、4チームともここを減点0に抑えていました。これには驚きました。目測を併用したのなら大したものです。

Q-B(石碑の建立年の差) 正解率=95%

ぐるグルドライブクイズR-7と同様、今回もスタート前クイズとなりました。これは橋上の立派な金太郎像をXクイズとしたいがための設定でした。なのでQ-B自体は平易な出題で、高い正解率となりました。

この酒匂川は、Q-Cのイラストマップにもある通り、治水と水利に苦労した歴史があるようです。他にもこれに関する施設が多くあり、それをテーマに1コース作れそうなほどです。実際の作成は、かいせいラリーさんに期待したいと思います。

Q-C(イラストマップ上の出題場所の数) 正解率=63%(平均減点=0.7)

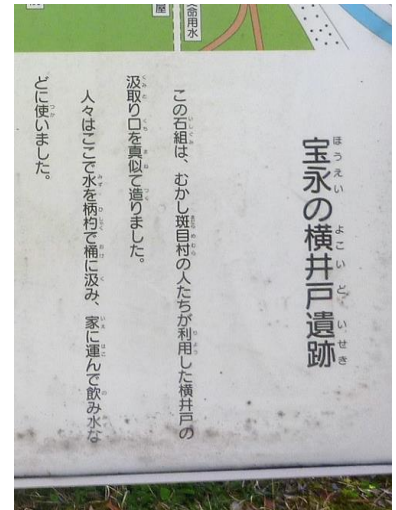
SAQR19本戦では、別の場所にあったこれと同じ看板から出題しています。この番外編のコースのうちスタートから9CPまでが、このイラストマップの範囲内にありましたが、名称が記載されているクイズ出題場所はそのうち5施設でした。除外するよう注釈をつけた(Q-Xなど)にも関わらず、解答に含めてしまったもったいない解答も複数ありました。

【追記】Q-Fは「地藏堂バス停」ですが、イラストマップに載っているのは「地藏堂」です。地藏堂という施設にバス停は含まれないという考え方も成り立ちますので、Q-Fを解答していなくても減点対象としません。

Q-E(横井戸の遺構物) 正解率=58%

この問題には引っかけがあります。一見、横井戸の遺跡とってしまうのですが、すぐ横の説明板を読むと、「真似て造りました」とあります。普通はまず遺跡の説明があって、その後「これは遺跡を模したものだ」という順序で書かれているものです。ここはまず模造品の説明をしている点が、逆に皆さんの勘違いを招いたのかもしれませんが、問題文にわざわざ「正確に」と注釈がついている点に注意すべきでしたね。

遺跡を真似て造ったもの、模造品であることに触れていれば正解にしました。



Q-F(地蔵堂のバス停) 正解率=68%

今年の6月20日のバス便数を数えるだけですが、注意力が必要です。バス停時刻表の表裏で異なる行く先が載っていること、6月20日は土曜日であること、10月11月のみ運行するバスがあること。この条件で数えると9便が該当します。

意外と誤答が多い結果となりました。中でも18便という解答が多く、これは平日の関本行きも数えたか、10月11月のみ運行する便も数えたものと思われる。油断大敵です。

【追記】18という解答にはもっと深い理由があったようです。深読みして「発」と「着」を別々に数えた方も18という解答をされたようです。バス停での「発着」は、乗客の乗降のためにバスが停止し乗車後に出発する、というバス停での一連の流れを指しています。問題文で「通過(発着)」としたのは、現地バス停表記に「通過予定時刻表」とあったためです。

バス番号	平日 Weeekday	土曜日 Saturday	日・祭日 Sun Holiday
行き先	足柄万葉公園	足柄万葉公園	足柄万葉公園
バス番号	ASHIGARA MAN-YO KOEN	ASHIGARA MAN-YO KOEN	ASHIGARA MAN-YO KOEN
6			
7			
8			
9		01 *	01 *
10		00 *	00 *
11			
12			
13			
14		11 *	11 *
15		20 *	20 *
16			
17			
18			
19			
20			
21			

バス番号	平日 Weeekday	土曜日 Saturday	日・祭日 Sun Holiday
行き先	関本(大雄山駅)	関本(大雄山駅)	関本(大雄山駅)
バス番号	SEKIMOTO DAIFYUZAN Stn.	SEKIMOTO DAIFYUZAN Stn.	SEKIMOTO DAIFYUZAN Stn.
6	15 *	40 *	
7			
8			
9	30 *	10 *	10 *
10	23 *	15 *	15 *
11	00 *	11 *	11 *
12	25 *	25 *	25 *
13			
14		25 *	25 *
15		46 *	46 *
16	40 *	25 *	25 *
17	25 *	25 *	25 *
18	18 *	25 *	25 *
19			
20			
21			

Q-G(金太郎の決まり手) 正解率=42%

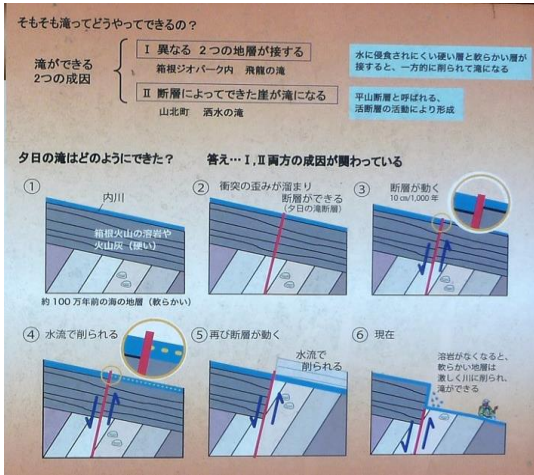
作成者が用意した正解は「送り倒し」、そして最多解答は「突き倒し」でした。いずれかを解答した方は減点ゼロです。ちなみに解答が多かった決まり手は以下の通りです。

突き倒し・・・7票 押し倒し、突き出し・・・3票 送り倒し、突っ張り・・・2票

日本相撲協会HPIによると「突き倒し」の定義は「土俵の内外に関係なく相手の体を手のひらで強く突っ張って倒して勝つこと」。そして背中側から突くか押して倒した場合は「送り倒し」。この顔出し看板のイラストではクマはうつ伏せに倒れているので、作成者は「送り倒し」と判断しました。クマのしっぽを、おちん〇んと勘違いした人は、仰向けに倒れていると考えたのかも。



そうそう、「武器(まさかり)を持っているから反則負け」では?という感想もありました!(笑)



Q-H(夕日の滝の生い立ち) 正解率=79%

毎年1月半ばに夕日が滝口に沈むところから名づけられたという夕日の滝。なかなか堂々とした姿です。駐車場から滝へ向かう途中のジオサイトの説明板に、その生い立ちが解説されていました。断層によってできる滝は滝壺側が下降した結果ですが、夕日の滝では断層に加え地層要因があったため、滝壺側が上昇した結果滝ができたという、ちょっと意外な現象です。

正解できなかった方は、この説明板を見つけれなかったか、地層が削られたことを「滝壺側が下降した」と解釈してしまったのかもしれませんが。

Q-I(領地争奪戦) 正解率=37%

次の綱引きで足柄市が勝てば足柄領地が続きます。領地として現在確定しているのは次回綱引きまでですが、問題文は「いつまで続くか」なので、足柄領地であることが途切れるまで=綱引きで負けるまで、と考えて欲しかったところです。かえって混乱させる可能性がある(論理的に正解可能である)と考え、「トンチ問題」とは記しませんでした。

Q-K(大まさかりの材質) 正解率=95%

このオブジェの説明を読めば、オールアルミ製であることが分かります。全員正解してもおかしくないサービス問題でしたが、惜しくも1チームだけ鉄製との解答がありました。

なおこの大まさかり、過去のDRで出題されたことを記憶されている方が1人だけいらっしゃいました。ただどのDRだったかは不明です。(OQRでないことは確認しました)

Q-L(山の名前) 正解率=89%

実はこの問題、視界が悪い時でも正解可能です。右の写真のように解説パネルに写真が載っているので、これで分かります。駐車場にあるパネルではなく、園内奥にある里のひろばにありました。

園内にはさくら山とつつじ山があるので、そこから答えた方も。ちなみにこの大野山は、2CPから先のワインディング路からも視界が良ければ時折見えておりました。



私の大きさ

D形 (動輪四対 貨物用) 52形 (テンダー機関車)	
最大馬力	1,600馬力(最高速度)75km/H
機関車の全長	20,550mm(先水車長さ 8,775mm)
機関最大高さ	3,980mm(先水車高さ 3,060mm)
機関全重量	96t(機関部74t+炭水車22t)
石炭の積載量	10t
炭水車水容量	25t
車輪の直径	(動輪1,400mm 炭水車車輪860mm)



Q-M(炭水車の総重量) 正解率=74%

左の説明板から計算できます。炭水車22トン+石炭積載量10トン+炭水車水容量25トン=57トン。この3つを足し合わせることは炭水車のイラストを見れば分かります。機関車まで加えてしまった131トン、石炭を加えなかった47トンという解答もありました。

Q-N(道標探し) 正解率=100%

駐車場が30分以内無料なので、その間に解答できるクイズにしました。でも行ってみるまでは場所が分からないし、少し推理力を使わないと時間がかかる設定であったことで、皆さん緊張感をもって探すことになったことでしょう。吊り橋は写っていなかったものの、橋台がヒントとなり今回初の全員正解です。



Q-O(和歌札の背後の木) 正解率=58%

5番の和歌札の背後に写る樹木は、ここを植物苑に見立てた左の写真の説明板に描かれた配置図から、ツツジと分かります。この配置図はかなり正確に作られていました。

5番の和歌に詠まれたオミナエシと勘違いされた方が多かったので、オミナエシ(女郎花)は右の写真のように樹木というより花です。



©wikipedia

Q-P(答えが99) 正解率=95%

珍しい二重螺旋構造の展望台で、皆さん気付かれた通り、登りと下りで段数が異なります。これをどう出題しようか悩みました。段数を数えるだけでは面白みに欠けるので、このような形に。登りで52段の時点では、はたして下りも数えて99段になるのだろうか？ と不安になったのではないのでしょうか。この段数の違いは、この展望台が斜面に建てられているために生じたものと思われる。

Q-X1~8 正解率=100%、84%、32%、68%、89%、95%、84%、84%

金太郎にちなんだものを拾ったために問題数が多くなりました。そのためバランスを考慮し、減点を2点ずつに設定しました。

- ・Q-X1 最初のクイズQ-Bの1つ目の碑の先にありました。全員正解！
- ・Q-X2 Q-G(決まり手)のパネルの奥、金太郎の遊び石の説明板を見れば分かったと思います。「かぶと石」が正解ですが、出題文に「岩」と表記してしまい失礼しました。
- ・Q-X3 ここは注意が必要でした。向かって右側にある像は、サルだけではなくウサギも含まれます。
- ・Q-X4 4CPの真横にありました。名称を問うているので、表記通りでない解答は厳しく採点しました。
- ・Q-X5 カエルのオブジェらしきことは分かると思います。「池の前」とありますが、今は水のない場所なので先入観で見落とした方がいたようです。Q-Iの立札のすぐ右横にありました。
【追記】解説板にある「底知らずの池」「雨乞い池」も正解とします。「何の池」と名称を明確に問うていない、X問題である、点を考慮しました。
- ・Q-X6 SLの前に鎮座していました。これは簡単でしたね。
- ・Q-X7 2CP横の斜面を撮影したものです。9月にはこのように見事な彼岸花(別名を曼殊沙華)が咲き誇ります。
- ・Q-X8 金時公園の入口、6CPの右前方にありました。問題文から、道標が観光マップの上にあることが推測できると思います。

金太郎ゆかりの地を互いに主張する神奈川県南足柄市と静岡県小山町ですが、領地を争う綱引き合戦を毎年やっている仲というのがとても面白い、と感じてしまう今回のルート。自粛ムードの中皆様の息抜きになったのなら幸いです。

Q-X3



Q-X5



Q-X8

